

子どもの姿

毎日スカートやカチューシャなどを身につけて好きなキャラクターになって遊んでいます。保育者は、ステージを用意し、音楽を自由に鳴らせるように CD デッキを準備しておく、子ども達はとても喜び、楽しそうに①ステージの上でなりきって踊ったり、ポーズをしたりしています。しばらくすると、音楽に合わせて手拍子をしている保育者の元へAちゃんが来て②「先生、ステージにはカーテンがあってね、カーテンが開いたら音楽が鳴るようにして踊りたいねん。」と、思いを伝えにきてくれました。「カーテンをつけたいのね。何色のカーテンにしようかな？」と保育者が聞くと、Aちゃんは「青色のカーテンがいいねん」と話していました。翌日、ステージにテントの枠を設置し、カーテンをつけると、「いい！本当のステージやな。あとはお客さんがもってきてほしい。」とウキウキした様子で椅子を並べ、「もっと見にきてくださーい」と呼びかけていました。ステージに立って踊っているうちに友達がマイクをつけていることに気が付き、③「マイクはここに付けるようにするねん。」と曲がるストローを帽子につけてマイクのようにし、自分でも本物になりきろうと、製作する姿も見られるようになりました。

子どもの育ちや学び

私、アイドルみたい  
(楽しい)

本物のステージみたい  
(ワクワク)

みんな一見にきてくださーい  
(ワクワク) (願い)



ここにマイクつけたよ  
(やってみたい) (できた)

① ステージがあることで、イメージしたキャラクターやアイドルになりきることを楽しむ。

②保育者に伝えると、実現するかもしれないと思った。

②A 児の「こんな風にしたい」という思いを、保育者に言葉で伝える。

②自分の思いを言葉で伝え、やりとりをすることで、相手に気持ちが伝わっていく喜びを感じた。

③友達がしているのを見て自分なりに工夫してつくる。

保育者の思い

進級したことで不安を感じたり、戸惑ったりしている子ども達が、好きなことをして遊べるように場をつくることで、安心感につなげたいと思いました。

好きなものや遊びがあることで、「今日は何色のスカートをはこうかな」「こんな曲で踊りたい」などと、楽しみにしている子どもたちの姿が見られました。A ちゃんの心も動き始めているように感じて嬉しかったです。

家庭だったら

好きなことを自分なりに表現していることを、身近にいる大人から受け止めてもらったり、認めてもらったりすることで、子ども達は安心して表現し続けることができるのかもしれませんが。